

作成日：2016年03月30日

改訂日：2018年07月01日

安全データシート（追加情報）

1. 化学品及び会社情報

製品名：プリンス粒剤

会社名：日産化学株式会社

住所：東京都中央区日本橋二丁目5番1号

担当部門：農業化学品事業部企画開発部登録グループ

電話番号：03-4463-8310 FAX番号：03-4463-8331

緊急連絡電話番号：農薬中毒事故時の問合せ先 公益財団法人日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話 (情報提供料：無料)	医療機関専用有料電話 (一件2,000円)
大阪 (365日・24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば(365日・9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

用途及び使用上の制限：農薬（殺虫剤）、農薬登録内容以外の使用は不可

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降の安全データシート（SDS）

「BASFプリンス粒剤」（BASFジャパン株式会社、改訂日：2016年07月06日 バージョン：3.1）を参照してください。

安全データシート

ページ: 1/13

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GRBASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

1. 製品及び会社情報

BASF PRINCE GR BASFプリンス粒剤

用途: 農薬製品, 殺虫剤

会社名:

BASFジャパン株式会社
東京都港区六本木6丁目10番1号
電話番号: +81 3 3796-5111
FAX番号: +81 3 3796-4111

緊急連絡先:

電話番号: +81 3 5410-0226

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

特定標的臓器毒性 (反復暴露): 区分 2
水生環境有害性(急性): 区分 1
水生環境有害性(長期間): 区分 1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

長期にわたる、または、反復暴露により臓器の障害おそれ。水生生物に非常に強い毒性。長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き（安全対策）:

粉じんを吸入しないこと。

注意書き（応急措置）:

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。漏出物を回収すること。

注意書き（廃棄）:

適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

他の危険有害性:

12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺虫剤

危険有害成分

石英 (SiO₂) 粒径 < 63 μm

含有量 (W/W): < 0.5 %

CAS番号: 14808-60-7

化審法番号: (1)-548

労働安全衛生法: (1)-548

特定標的臓器毒性（反復暴露）（肺水腫/呼吸器系）: 区分 1（吸入による）

カオリン

含有量 (W/W): < 50 %

CAS番号: 1332-58-7

ポリビニルアルコール

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06.07.2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

含有量 (W/W): < 5 %
CAS番号: 9002-89-5
化審法番号: (6)-682
労働安全衛生法: (6)-682

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 最も重要な症状や影響はラベル (第2章を参照) や第11章に記載されている。、その他の重要な症状や影響は今のところ知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物

火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:

保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を発生させない。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。法令に従って吸着剤を廃棄すること。粉塵を発生させないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。作業後に手洗い、洗眼をする。

安全取扱注意事項:

粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 湿気を避ける。熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

カオリン, 1332-58-7;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入域フラクション

数値は、アスベストを含まず、結晶性石英の含量が1%未満の粒子状物質の値

石英 (SiO₂: シリカ) , 14808-60-7;

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 0.025 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入域
フラクションCLV (ceiling limit value : 上限値) 0.03 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく
露限度 (JP)), 呼吸性粉塵**【保護具】****[呼吸用保護具]:**

高濃度に対して、または長時間有効な適切な呼吸保護具：固体微粒子および液体微粒子に対し、中程度の有効性を示す粒子フィルタ。EN 143、149P2型もしくはFFP2参照のこと)

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN 374) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN 374によると、透過時間は480分以上であること)：ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド (フレームゴーグル) (EN 166準拠) 付き安全眼鏡

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	固体, 粒状固体
色:	オフホワイト色
臭い:	無臭
臭いのしきい値:	適用せず、臭気を知覚できない
pH:	約 5 - 7 (20 % (m), 21.9 ° C)
融点範囲:	約 195.5 - 203 ° C 与えられたデータは、活性成分の値である。
沸点:	この製品は、不揮発性固体である。
引火点:	固体のため、未測定

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

蒸発率:	適用せず
燃焼性 (固体/ガス):	構造もしくは組成に基づく、引火性の兆候はない。
爆発範囲の下限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発範囲の上限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
自己発火性:	自己発火性なし。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。
蒸気圧:	本品については試験していない。
嵩密度:	1, 040 - 1, 120 kg/m ³
相対蒸気密度 (空気):	適用せず
水に対する溶解性:	ほとんど溶けない
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	適用せず
粘度:	固体のため、未測定

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

[混触危険物質]:

強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常のと扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,000 mg/kg

死亡なし

(吸入による):本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg

死亡なし

記載物質に関する情報: フィプロニル

実験または計算によるデータ:

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 0.36 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

煤塵エアロゾルとして試験された。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギ:

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ウサギ:

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

モルモット:

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

発がん性の評価:

ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

記載物質に関する情報: カオリン

発がん性の評価:

動物実験で発癌作用の徴候が認められている。しかしながら、この結果の人に対する関連性は、不明確である。

記載物質に関する情報: 石英 (SiO₂: シリカ)

発がん性の評価:

ラットおよびマウスを用いた長期試験において混餌投与した結果、発癌性は認められなかった。この物質の高用量での吸入による長期の動物実験において、発癌効果が観察された。吸入可能な塵/エアロゾルの形状のこの物質とその化合物は、ドイツのMAK委員会によリカテゴリー1がん原性（人に対して発がん性である）として分類されている。発癌効果を完全には除外することが出来ない。細かい粉塵のalveolar fractionを吸入摂取すると、肺に損傷を与える可能性がある。国際癌研究機関（IARC）は、この物質をヒトに対する発癌性が認められるGroup 1に分類した。

生殖毒性

生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:

単回暴露評価:

利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

反復投与毒性の評価:

長期もしくは反復曝露から、死亡と神経毒性の原因となる。

記載物質に関する情報: カオリン

反復投与毒性の評価:

肺胞に到達する粒子/埃を繰り返し吸入摂取すると、肺に損傷を起こす可能性がある。

記載物質に関する情報: 石英 (SiO₂: シリカ)

反復投与毒性の評価:

本品を繰り返しの吸入すると、肺重量の増加および肺の組織変化を引き起こす可能性がある。

吸引性呼吸器有害性

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 0.0852 mg/l, ブルーギル (学名: *Lepomis macrochirus*)

記載物質に関する情報: フィプロニル

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 0.19 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASF プリンズ粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

EC50 (96 h) 0.00017 mg/l, ミシッドシュリンプ (学名: *Mysidopsis bah*)

記載物質に関する情報: フィプロニル

水生植物:

EC50 (72 h) 0.103 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Scenedesmus subspicatus*)無影響濃度 (14 日) 0.16 mg/l, 緑藻 (学名: *Scenedesmus subspicatus*)

記載物質に関する情報: フィプロニル

魚類に対する慢性毒性:

無影響濃度 (35 日) 0.0029 mg/l, シープスヘッドミノー (学名: *Cyprinodon v*)

記載物質に関する情報: フィプロニル

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:

無影響濃度 (28 日), 0.000008 mg/l, ミシッドシュリンプ (学名: *Mysidopsis bah*)

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フィプロニル

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 321, ブルーギル (学名: *Lepomis macrochirus*)生体蓄積性はないと考えられる。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 07. 2016

製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意**国際陸上輸送:**

危険クラス:	9
容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
危険物ラベル:	9, EHSM
正式輸送品目名:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。) (内容物 フィプロニル)

海上輸送

IMDG	
危険クラス:	9
容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
危険物ラベル:	9, EHSM
海洋汚染物質:	該当
正式輸送品目名:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)(内容物 フィプロニル)

Sea transport

IMDG	
Hazard class:	9
Packing group:	III
ID number:	UN 3077
Hazard label:	9, EHSM
Marine pollutant:	YES
Proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains FIPRONIL)

航空輸送

IATA/ICAO	
危険クラス:	9
容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
危険物ラベル:	9, EHSM
正式輸送品目名:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)(内容物 フィプロニル)

Air transport

IATA/ICAO	
Hazard class:	9
Packing group:	III
ID number:	UN 3077
Hazard label:	9, EHSM
Proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains FIPRONIL)

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06.07.2016
製品: BASF PRINCE GR / BASF プリンズ粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

15. 適用法令

消防法: 非危険物

シリカ
労働安全衛生法
通知対象物
70 % \geq - < 80 %

シリカ
労働安全衛生法
表示対象物

シリカ
化学物質排出把握管理促進法
第1種指定化学物質
1.0 %
施行令第1条別表第1番号: 22

欧州連合の規則 (ラベル表示)

1999/45/EEC (調剤指令) 。:

危険有害性シンボル

Xn 有害である。

R-フレーズ

R48/22 有害: 長期間飲み込むと重篤な健康障害の危険。
R52/53 水生生物に有害で、水生環境に長期の悪影響を及ぼす恐れがある。

S-フレーズ

S13 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。
S2 子供の手の届かないように保管すること。
S20/21 使用時には飲食または喫煙をしないこと。
S46 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器またはラベルを示すこと。

表示すべき危険有害性決定要素: フィプロニル

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06. 07. 2016
製品: BASF PRINCE GR / BASFプリンス粒剤

バージョン: 3.1

(30492212/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 22.08.2016

16. その他の情報

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。